

里美って？

Satomi

常陸太田市の北部、福島県との県境に位置する里美は国道 349 号線を中心に東西を阿武隈山系の山々に囲まれた自然豊かなムラ。常陸太田市の人々の生活に欠かせない飲み水を生み出す里川の源流域でもあります。



里美の良さって？

(自然 + 食 + 文化) × 人の営み = 理由のない心地良さ

「なんかいいね。里美」魅力

里美の「なんかいいね。」を伝える情報紙「SATOMITO (里美と)」をつくりました。

この情報紙では、里美の営みの中で暮らす魅力的な“ひと”たちの紹介もしていきます。「SATOMITO」片手に里美の旬を感じ、立ち寄った場所で里美の“ひと”の魅力に触れてみてはいかがでしょうか。きっといつもと違う里山の日常に触れることができるでしょう。

-TAGAYASU- 耕す

近藤 良弘さん (38歳)

2010年の冬から小妻町に移り住み、有機農業の手法で野菜作りを始めた近藤 良弘さん(近ちゃん)は岡山県出身。学生時代に関心のあった国際協力の世界での活動から一転、ここ里美で野菜生産農家として生きて行く道を選んだ。

2008年から2010年 JICAの海外青年協力隊で西アフリカで活動後、里美に移住していた知人を頼り里美に移住。当初は知人宅に下宿し里美での圃場探しに奔走。2011年の初頭からは地域の方の協力もあり、今の家に住むことになった。

有機生産農家として里美での生活を始めた矢先に体験した東日本大震災とそれに伴う厳しい状況のなか、冷静に現状を見据えながらこの地での野菜生産を本格的にスタート。今では30品目の野菜をつくり、里美の学校給食センターへの提供をはじめ日立市内の3店舗に野菜を卸している。

里美に拠点を置く有機農家が、消費者への直接販売を中心に行っているのに対し自分の生産能力と販路を見極め堅実な農業経営を実践している。

小妻町にある現在の自宅は、かつて小中町にあった馬市場に来る仲買人が宿泊する旅館だったところ。入居後すぐに地域の方たちが消防団へ勧誘、入団後には地域の組内にも入れてもらい、すぐに地域の一人として受け入れてくれたという。

有機農業の面白さは、微生物を介して落ち葉や厩肥などの地域資源を使い美味しい野菜ができることという近ちゃん。果菜類の種まき、キャベツ、ブロッコリーの定植など4月からまた忙しい農の日々がはじまる。そんな忙しさの中でも、独自の加工品開発へ販路を拡大する夢を語る。

移住して5年目。今年も春耕から里美での農業経営の新しい歳月が始まる。(文：岡崎)

挑む -IDOMU-



小林 信房さん (71才)

「里美を良くするんだ。」そう、力強く話してくれたのは、里美の地域づくりの先頭に立ってずっと地域を引っ張ってきたリーダー的存在の小林信房さんだ。学校に通いながら家の農業を手伝い、日立市まで自転車に乗って鶏を卸しに行ったこともあるそう。中学校を出た後すぐに働き始め、25歳で(有)小林建材を設立、社長に就任した。

里美で事業を営みながら、昭和60年、39歳の時に村会議員となり、社長の座を息子さんに譲ってからは「農業と観光を結び付ける」ことをテーマに地域づくりに取り組んできた。地域にお土産がないな、と思えば舞茸工場を作って生産・販売したり、「これからは観る観光ではなくもぎ取る観光だ!」と思えば観光農園を開業した。「生きるためには、いつも大変だった。」そう、事も無げにこやかに話す信房さんからは、穏やかにすべてを包み込むような優しさ、激しく移り変わる時代の中で常に先見の明を持ち、今も現役で地域を引っ張っているリーダーとしての力強さ、説得力を感じた。

そんな信房さんが今、地域の振興を担う「里美ふるさと振興公社」の理事長として全力で取り組んでいるのが、小里牧場で育った黒毛和牛「里美牛」のブランド化だ。高齢化が進み担い手のいなくなった耕作地を借り受け、飼料米の栽培も始めた。加工棟も整備し、牛の食べる餌から飲食店で提供されるまで、地域ぐるみで取り組みたいと話す。「振興公社が地域を潤していかなければ」と意気込む信房さんに、今後の抱負を聞いた。「とにかく里美に人を呼んで地域を元気にする。これしかない。夢や希望を持たなきゃだめだ。」そう力強く答えてくれた。信房さんの挑戦は、地域と共に、これからも続いていく。(文：長島)

-TUKURU-HITO- No.1

-CHIZUwoKAKU-

あの道 この道
まわり道
めぐりめぐって もとの道

道想う。心躍る。
地図の声を聞く。
ほら。先人の生活が見えてくる。

やっぱり
地図はおもしろい。

とっておきの里美と出逢う ～春の里美 おすすめスポット～

桜めぐり

南北に長い里美地区。南から順番に約3週間お花見が楽しめます。旧里美村の花に山桜が指定されていたように、地区内には立派な桜が随所で咲き誇ります。中でも、小室家の山桜は県下一巨樹を木と言われ、地元の人には「クワビ、セソソイ探りの句になったことを知らせてくれる桜」として大切にしています。お越しの際は、私有地のため、遠くからお楽しみください。

鍋足山 (なべあしやま)

4月～5月の鍋足山は水彩画のような淡い色から緑鮮やかな色彩に染まるの。春の妖精たちとの出逢い。ヤマザクラの花吹雪を楽しみながらの山歩きも素敵よ。

薄葉沢 (うすばざわ)

塩の草から笠石につながる薄葉沢沿いの小径は昔、塩や海産物を運んだ道。沢のせせらぎを聞きながら昔の旅人気分を楽しんでみてはいかがでしょうか?

さとみ春の味覚祭

イベント2日目！ 歌手や芸能人のライブが、ステージを華やかに彩ります！ イベント期間中開催されるおかめじょこと投げ餅祭り、老若男女みんなが最も盛り上がる瞬間！

ステージでは地域のひとたちによる芸能発表会や、お楽しみも満載！

会場内では特産品やおいしい食べ物を提供するお店が多数出店！ 新緑の季節の爽やかな里美を満喫するにはぴったりのイベント。

主催：さとみ春の味覚祭実行委員会、常陸太田市観光物産協会、里美支部
問い合わせ：0294-82-2111 常陸太田市観光物産協会里美支部事務局(里美支所内)

※天候等により内容が変更になる場合があります。

SATOMITO 2015.4 春号 vol.1

里美の地域情報紙

構成・編集：岡崎 晴・長島 由佳 / 表デザイン：なる / 裏デザイン：中野 修
里美絵地図・桜絵：天野 和男 / 企画・発行：SATOMITO 制作チーム
協賛：(一社)常陸太田市観光物産協会 / (一財)里美ふるさと振興公社

春のSATOMITO サポーター

1 若駒つりばりセンター

☎ 0294-82-4001
☎ 080-3476-4001
Ⓧ 常陸太田市里川町842-15
Ⓧ 4月下旬～11月下旬
Ⓧ 不定休

関東一の広さを誇る里美牧場の中心に位置する釣り堀。思わず「ここが茨城?」と思うくらい神秘的な、桃源郷のような場所です。特に夏場7～8月は高原の為、涼しくさわやかな空気の中、いわな、にじます、やまめ等の釣り・川での釣り取り等もできます。釣った魚はその場で炭火焼か、そのままお持ち帰りできます。(料金別途)

Ⓧ 5月10日のみ...釣竿、エサ代サービスまたは絞りたて牛乳サービス

2 (黄)井坂酒造店

☎ 0294-82-2006
Ⓧ 常陸太田市小中町187
Ⓧ 10:00～16:00

里美の水と空気が土蔵ぐらで手作りの地酒を作り続けている。文政元年(1818年)創業の地区内に唯一残る酒蔵です。和やかな人間関係をつくる、飲んでうまい酒を造ることを心がけています。きれいなピンク色の古代米のお酒、「茶式部」は女性でも飲みやすい里美らしいお酒です。

Ⓧ 13時～酒蔵見学実施。寒い時は甘酒の、暖かい時は甘酒ミルクアリのサービス。

3 里美温泉保養センター ぬく森の湯

☎ 0294-82-3366
Ⓧ 常陸太田市大町2076-6
Ⓧ 10:00～20:00 (最終入館19:30)
Ⓧ 不定休

全国トップクラスのアルカリ度を誇る名湯。お肌すべすべ、体ほかほか、心リフレッシュ。健康増進に効果大と評判!農作業が始まる季節、作業の疲れを癒しに地元の人も多く通う憩いの場です。料理のメニューも豊富で、ここでしか食べられない「里美餃子」とほくほくのコロケがおすすめ。休憩・娯楽施設も完備しています。

Ⓧ 本紙ご持参でドリンクサービス □ぬく森の湯チェック欄

4 (有) One-day cafe 里美の休日

☎ 0294-82-2980
Ⓧ 常陸太田市大町1547
Ⓧ 11:00～16:00 (毎月第2日曜日のみ営業)
Ⓧ Facebook「One-day cafe 里美の休日」で検索

毎月第二日曜日「里美の日」に併せてオープンする、里美好きが集まる「one-day cafe 里美の休日」。地元農家栽培の野菜をふんだんに使ったおいしいランチと、里美の水で淹れる珈琲を築150年の古民家荒崎邸でゆつたりとお楽しみください。手作り布小物や採れたて野菜の販売、季節に合わせたワークショップ開催など、楽しいイベントも随時開催中!

Ⓧ 本紙ご持参の方に粗品プレゼント

5 パンカフェ アシリアベ

☎ 080-3694-5007
Ⓧ 常陸太田市大町3486-2
Ⓧ 10:00～17:00 (土曜・日曜のみ)
Ⓧ 月曜日～金曜日

土・日曜日のみオープンする、素敵なお店。国道349号線の東側の田畑の中に、ぽつんと現れる可愛い小ぶりなおうちが目印です。無農薬・無化学肥料の素材を使い、天然酵母にこだわっています。地元産の素材を中心に原則として国産です。フェアトレードのコーヒーなども扱っています。

Ⓧ 本紙ご持参の方に粗品プレゼント

6 (有) 里美観光農園うぐいすの里

☎ 0294-82-2980
Ⓧ 常陸太田市大町1851-1
Ⓧ 11:00～15:00
Ⓧ 月曜日

耕作放棄地を活用して無農薬で常陸秋そば作りに取り組んでいます。栽培から収穫、製粉、販売まで自社工場で行い、ブランド力の向上に力を注いでいます。観光農園も併設されており、6月上旬～6月下旬にはサクラポイント、10月上旬～11月下旬にはりんご狩りも楽しめます。お店の横を流れる清流は隠れた癒しのスポットです。

Ⓧ 天ざるそば・うどんをご注文のお客様に春の香りがいっぱい、ふきのとうの天ぷらサービス。

7 横川温泉 元湯 山田屋旅館

☎ 0294-82-2236
Ⓧ 常陸太田市折橋町1409
Ⓧ 10:00～20:00
Ⓧ 不定休

～川のせせらぎ響く、山あいの湯宿へようこそ～
三百年の歴史が物語る名湯と美食の宿。かつて平安時代の武將・源義家が立ち寄り、4日で癒を癒したといわれている名湯でよく温まる「美肌効果」のある県内トップクラスのアルカリ度PH10.1の天然温泉。ゆつたりとした空間の中で素敵な旅のひと時をごゆっくりとお過ごしください。

Ⓧ 本紙を持って日帰り温泉にお越しの方に旅館オリジナル商品をプレゼント。

8 菓子のやまがた

☎ 0294-82-2966
Ⓧ 常陸太田市折橋町637-3
Ⓧ 8:30～18:00
Ⓧ 月曜日(祝日は営業、翌日休み)

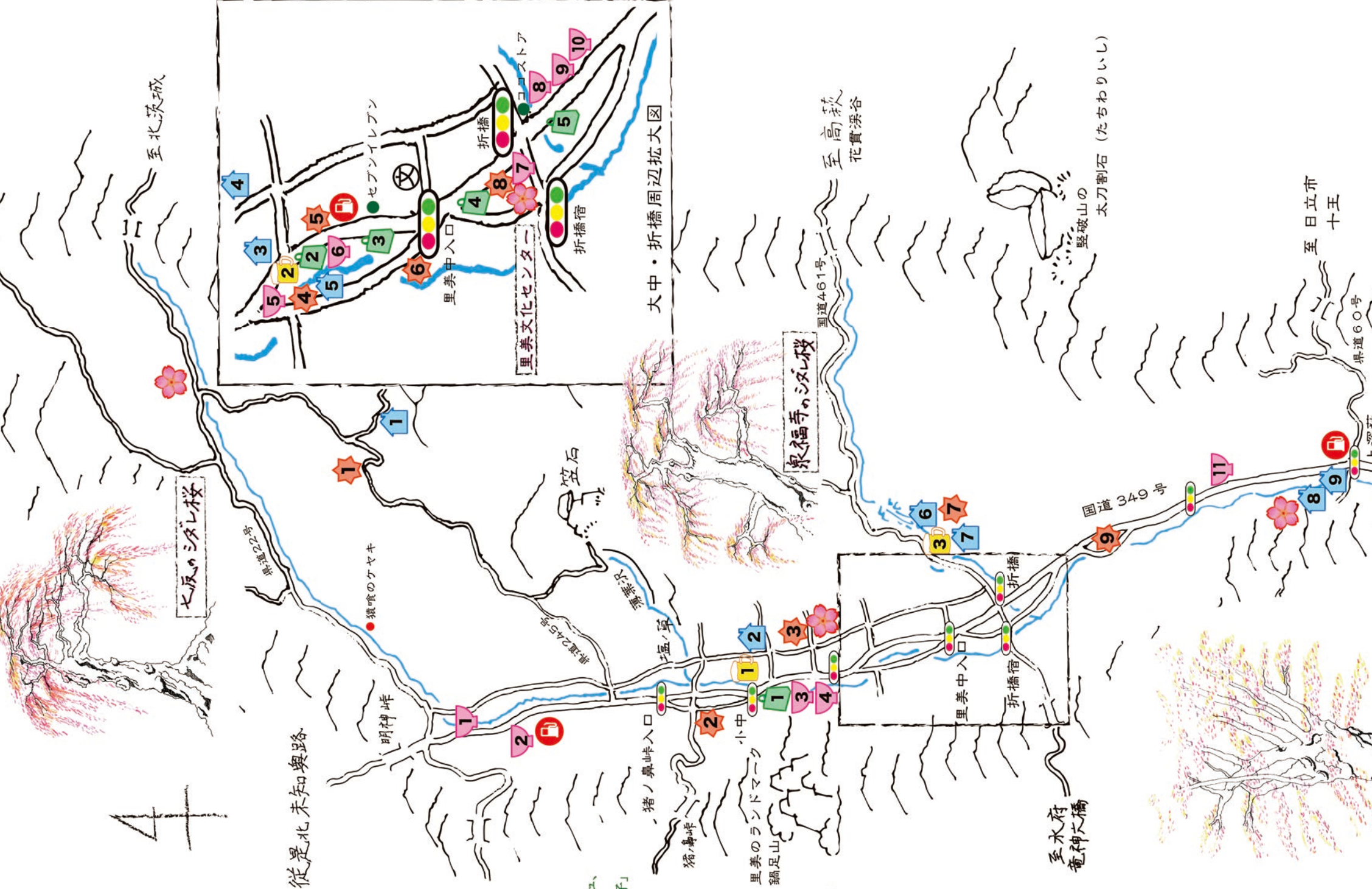
里美で人気のお菓子屋さん。甘過ぎず、口当たりの良いクリームがぎゅっしり詰まったロールケーキがおすすめです。優しい風味のシフォンケーキ、森林なクッキーやマドレーズ、里美まんじゅう、あんどうナッツなどの和菓子も人気。地元の人にも御用達のお店です。

9 道の駅 さとみ

☎ 0294-82-2100
Ⓧ 常陸太田市小菅町694-3
Ⓧ 売店 9:00～17:00
Ⓧ レストラン 11:00～15:00(日祭日～16:00)
Ⓧ 休 休

高台にあるレストランからは美しい山並みや季節の移ろいを感じさせてくれる田園風景を望むことができます。オリジナルブレンドのソフトクリームは当店自慢の一品。多くの旅人に喜ばれている一押しスイーツです。お屋敷のおすすめメニューはザル2色盛り!自家製そば・うどんが両方楽しめます。レストラン東側の「椎茸神社」にも是非お参りしてみてください。

Ⓧ お買い物がお食事とされた方にミニソフトクリームサービスの



里美村繪圖

<p>1 商店 たらしま商店</p> <p>2 レストラン・珈琲所・ジュラート JA 常陸里美生産物直売所</p> <p>3 レストラン・直売所 山椒直売所</p> <p>4 直売所 折橋直売所</p> <p>5 商店 ストア石川</p>	<p>1 体験・宿泊 プラトー里美</p> <p>2 宿泊(会員制) 農家の宿 沼田邸</p> <p>3 体験・宿泊 里美ふれあい館</p> <p>4 体験 高齢者生産活動センター</p> <p>5 宿泊(会員制) 里美古民家の宿 荒崎邸</p> <p>6 旅館・日帰り温泉 横川温泉 湯元巴屋旅館</p>	<p>1 居酒屋 笑店</p> <p>2 スナック あかり</p> <p>3 スナック スナック 窓</p>
<p>7 蕎麦うどん定食 やまびこ</p> <p>8 蕎麦うどん定食 かねさわ精肉食堂</p> <p>9 ラーメン・定食 美の里</p> <p>10 蕎麦 ゆみ野</p> <p>11 ラーメン ふるさとラーメン</p>	<p>1 うなぎ料理店 うな昭</p> <p>2 和食 旬菜工房ばや</p> <p>3 ラーメン ラーメン家ようちやん</p> <p>4 和食 焼肉・鮎・刺身古神</p> <p>5 洋食・カフェーク レストランこぐま</p> <p>6 蕎麦 麵処くるり</p>	<p>7 旅館・日帰り温泉 横川温泉 中野屋旅館</p> <p>8 旅館・日帰り温泉 大昔温泉 里美屋旅館</p> <p>9 旅館・日帰り温泉 大昔温泉 元湯旅館</p>

- 🌟 SATOMITO サポーター
- 🍷 お食事処
- 🛍️ 買い物・お土産
- 🏠 宿泊・体験
- 🍷 飲み処
- 🌸 桜スポット
- 📌 「里美の日」おもてなし内容 ※各店舗のおもてなし内容は数量限定・先着順です